

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp**2月号**

笑顔かがやく さわの里

副校長 神野 崇

1月27日(土)に防災教育を行いました。この日はさわの里小学校地域防災拠点訓練も実施しました。コロナ禍前の訓練では、地域の方々と一緒に本校児童も体育館へ避難を行い、5年生が社会科等で学習をした「防災学習」について地域の方々に発信していたものです。今年度も寒い中、早朝より地域の方

をはじめ、区の方、卒業生のボランティアの方など、多くの方々のお力添えがあって実現した訓練でした。子どもたちは、まわりに頼れる大人の皆さんがたくさんいることを知り、安心したと感想を話していました。地域の皆さんからの想いを受けて日々、子どもたちは学びを深めています。

「ほんとうに自分たちでやって良いのですか」これは、総合的な学習の授業で子どもがつぶやいた言葉です。自分たちのグループで計画を立てて協力して活動していく姿がありました。「毎日総合の授業があって欲しい」とも話していました。その児童は苦手意識があった算数も、自分たちで考えて考えを深めていくことで課題解決していくようになりました。これは主体的な学びによって意欲が向上している姿です。総合での学び方を他の教科でも汎用的に活用し楽しみを感じている姿、学び方を獲得している様子なのだと思います。

年明け早々色々な出来事がありました。大変な思いをされている方がたくさんいらっしゃり、一刻も早く今までの日常が戻ってくることを切に願っています。そんな状況下で、全国高等学校サッカー選手権大会に震災後金沢代表の星稜高校と対戦した各校チームの行動が報じられていました。対戦相手の選手たちが試合前にグラウンドで「力を合わせて乗り越えよう」とメッセージを掲げる姿、また敗戦した学校の部員たちがゴミ袋で作った即席のユニフォームを着てスタジアムから応援する姿に心を打たれました。自分の思いや優しさを形にして表現した姿です。学校でも「明日の授業ではこれを頑張るんだ」とつぶやきながら帰る児童から、わくわく感が伝わってきます。これまでオールさわ小で笑顔かがやく学校をみんなでつくってきました。そのような子どもの姿を引き出すための検討の中で、過去に行っていた4年生の「10歳を祝う会」について全教職員で話し合い、検討を重ねた結果、学習指導要領の行事や特別活動の趣旨を受け、実施しないことにしました。このことにつきましては学校説明会資料にて詳しくお伝えいたします。ご理解いただきたいと思います。

学校は年度のまとめの時期です。保護者の皆様、地域の皆様、関係者の皆様とともによりよい活動に繋がってきたいです。当たり前と思っていることに感謝をしながら。

